



パロマ瑞穂スタジアム

名古屋市瑞穂区山下通5丁目1番地他

構造／RC造およびS造 6階
 延床面積／約61,500㎡
 竣工／2026年3月
 木材使用量／151.9㎡
 （うち、あいち認証材 約140㎡）
 施主／株式会社瑞穂LOOP-PFI
 設計／日本設計竹中工務店ブレック研究所
 設計共同体
 施工／株式会社竹中工務店

市民の日常に寄り添う陸上競技場

競技場と公園をつなぐ「木々のシンボル」として木々を抽象化した形を公園全体のデザインコードとしており、競技場の3Fコンコースを中心に公園全体をつなぐ「MIZUHO-LOOP」の架構や競技場外装の木格子などに用いている。木格子は周辺の豊かな木々の風景へ溶け込むようあいち認証材のスギを使用した。

また、競技場外装材の木端材を什器デザインに活用したり、伐採樹木をベンチに再生し、3Fコンコースに設置するなど、アップサイクルにも取り組んだ。

スポーツのみならず幅広い利用者が楽しめる新しい都市公園を目指している。



▲競技場外装の木格子



▲伐採樹木を公園ベンチに再生